

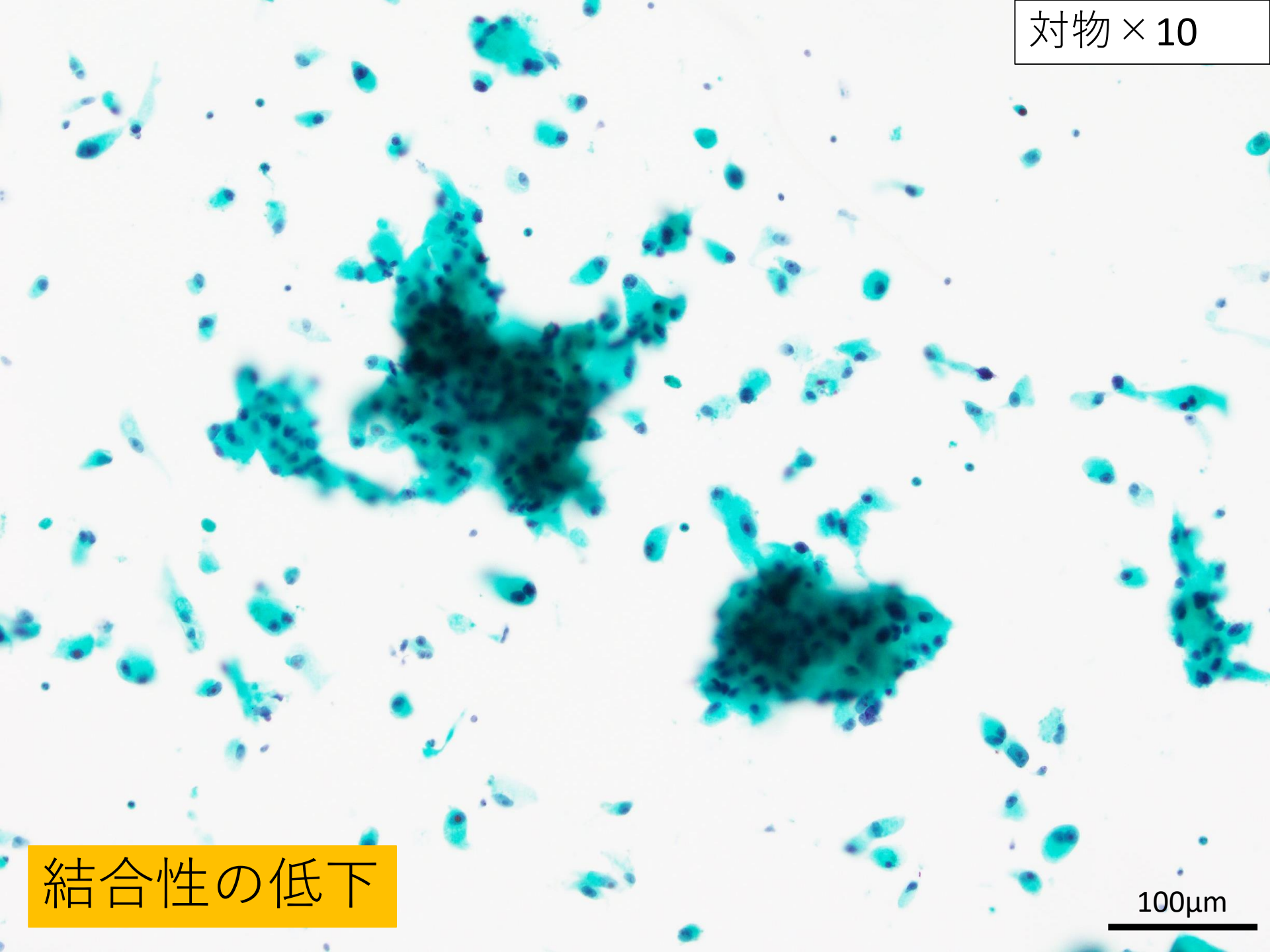
埼玉県細胞検査士会
第52回鏡検セミナー
症例 2 解説

対物 × 10

大型で核重積の異型細胞集塊
筋上皮は認められない

100μm

対物 × 10



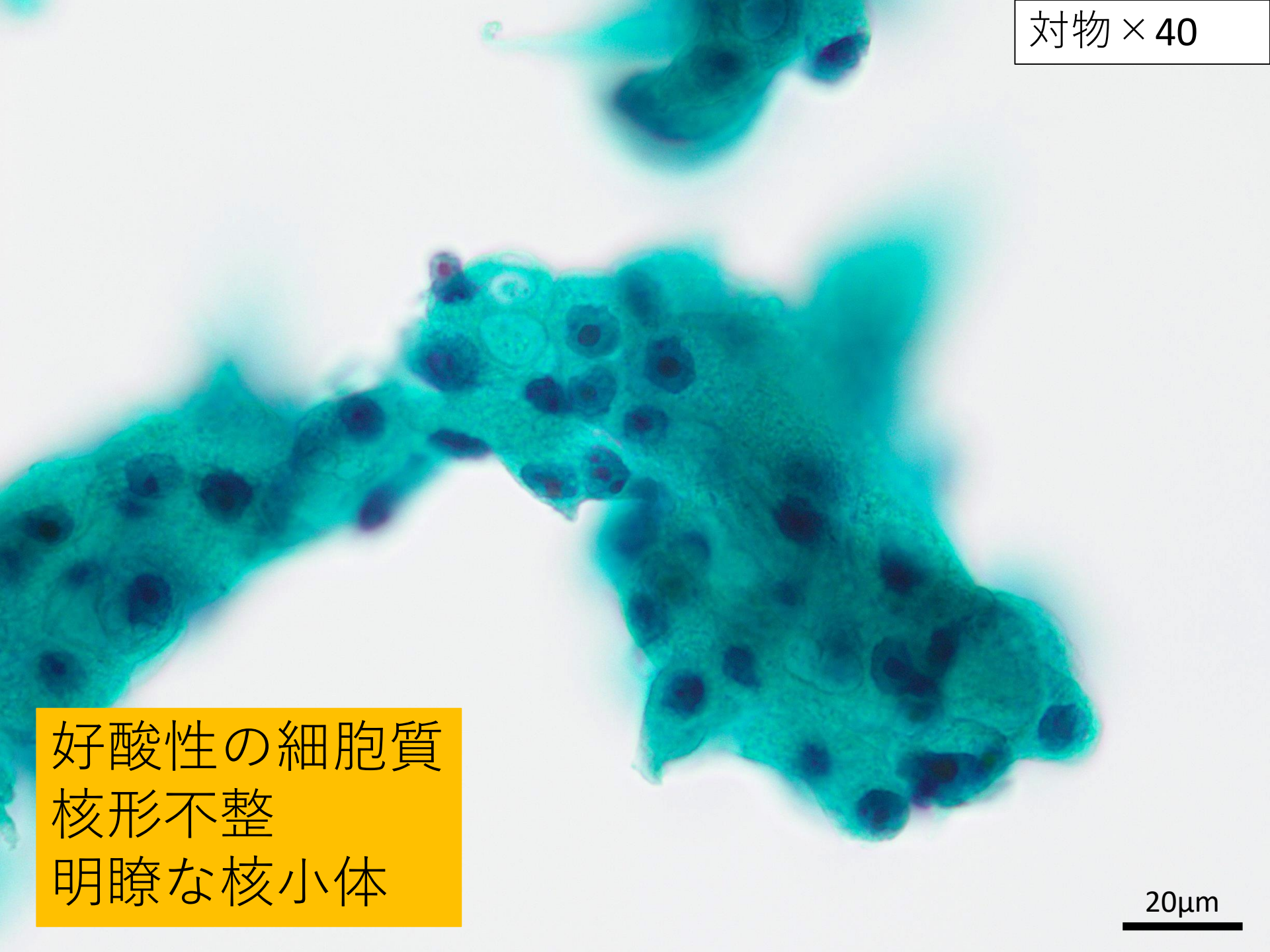
結合性の低下

100μm

対物 × 40

好酸性の細胞質
核形不整
明瞭な核小体

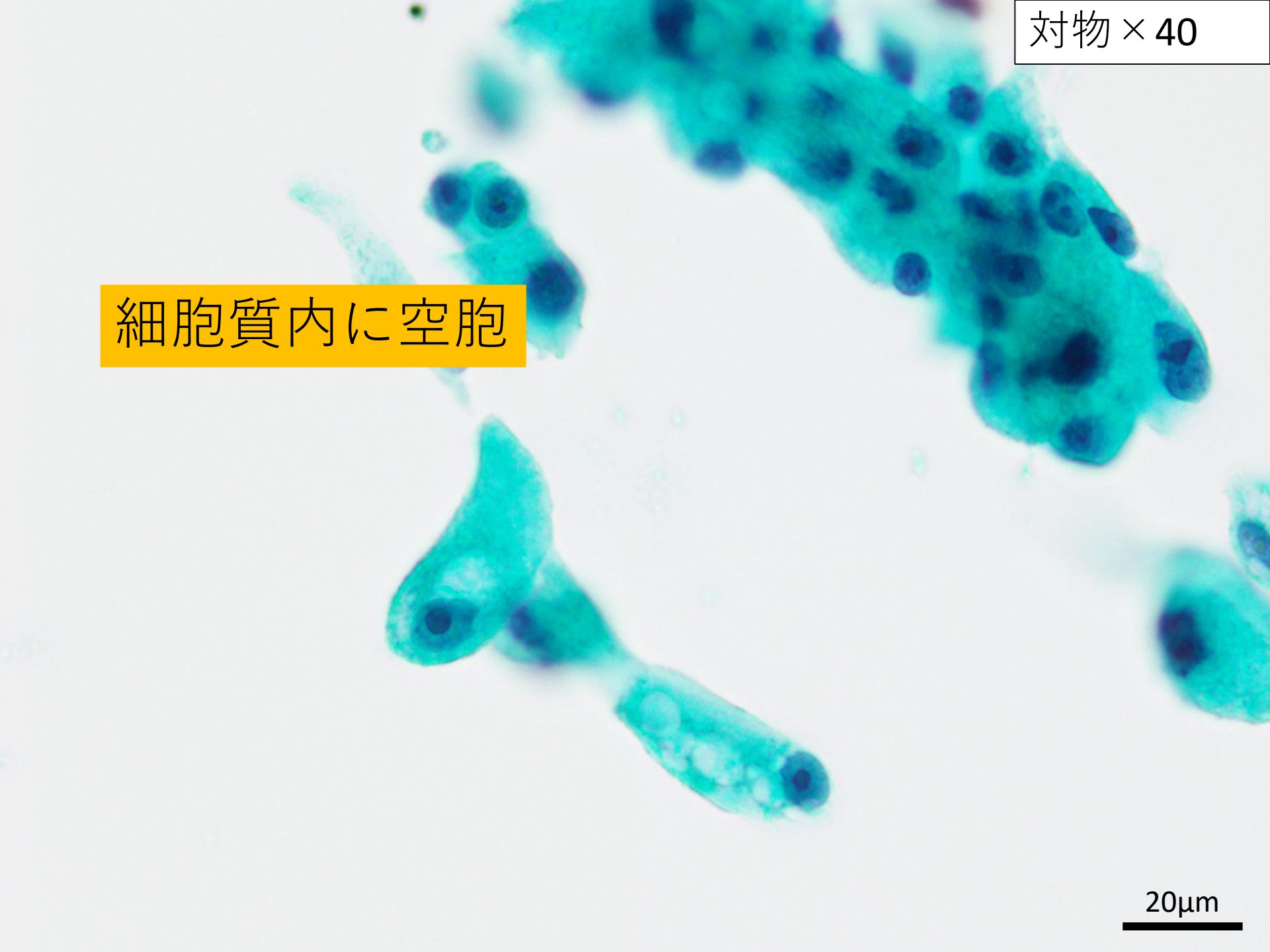
20μm



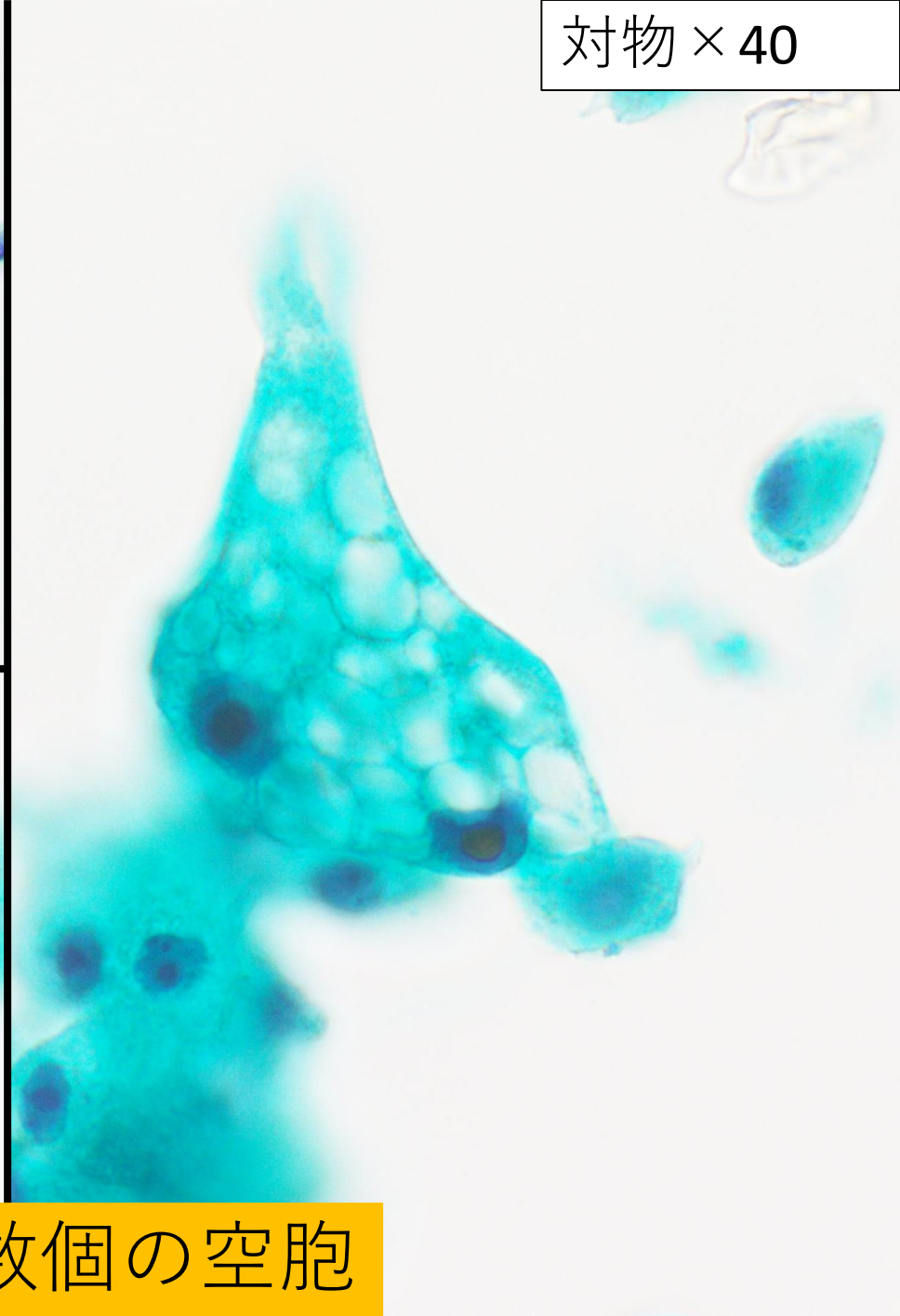
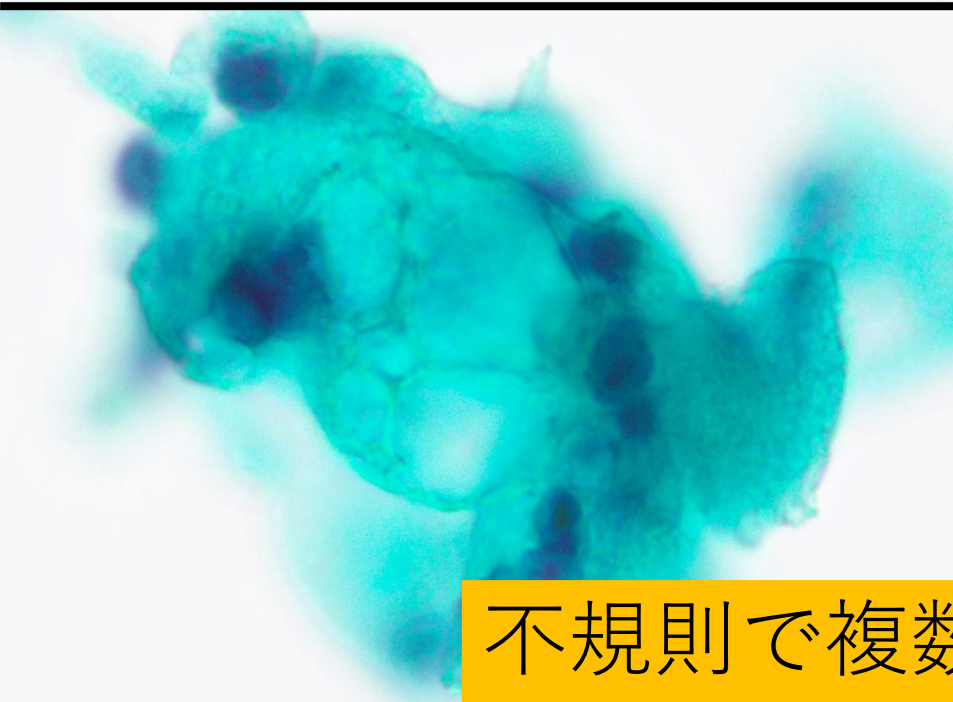
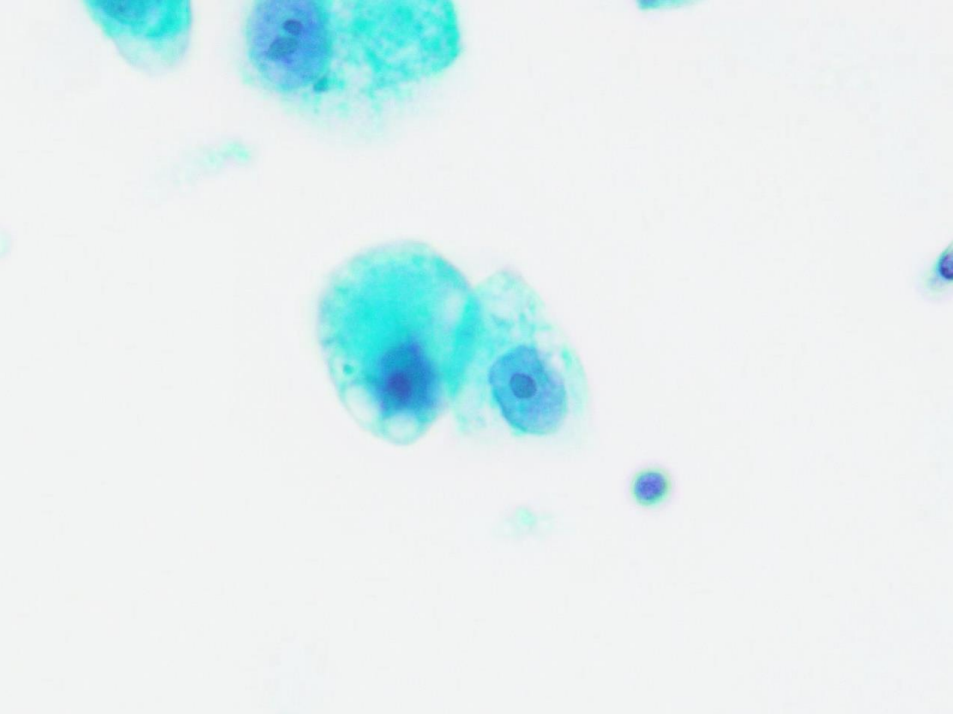
対物 × 40

細胞質内に空胞

20μm



対物 × 40



不規則で複数個の空胞

対物 × 40

細胞質内小腺腔 (ICL)

20μm



症例2 選択肢

1. アポクリン癌
2. 浸潤性乳管癌
3. 浸潤性小葉癌
4. 分泌癌
5. 脂腺癌

症例2

事前集計結果

1. アポクリン癌	7名
2. 浸潤性乳管癌	1名
3. 浸潤性小葉癌	0名
4. 分泌癌	4名
5. 脂腺癌	6名

症例2

会場集計結果

1. アポクリン癌	11名
2. 浸潤性乳管癌	0名
3. 浸潤性小葉癌	0名
4. 分泌癌	6名
5. 脂腺癌	10名

【細胞所見】

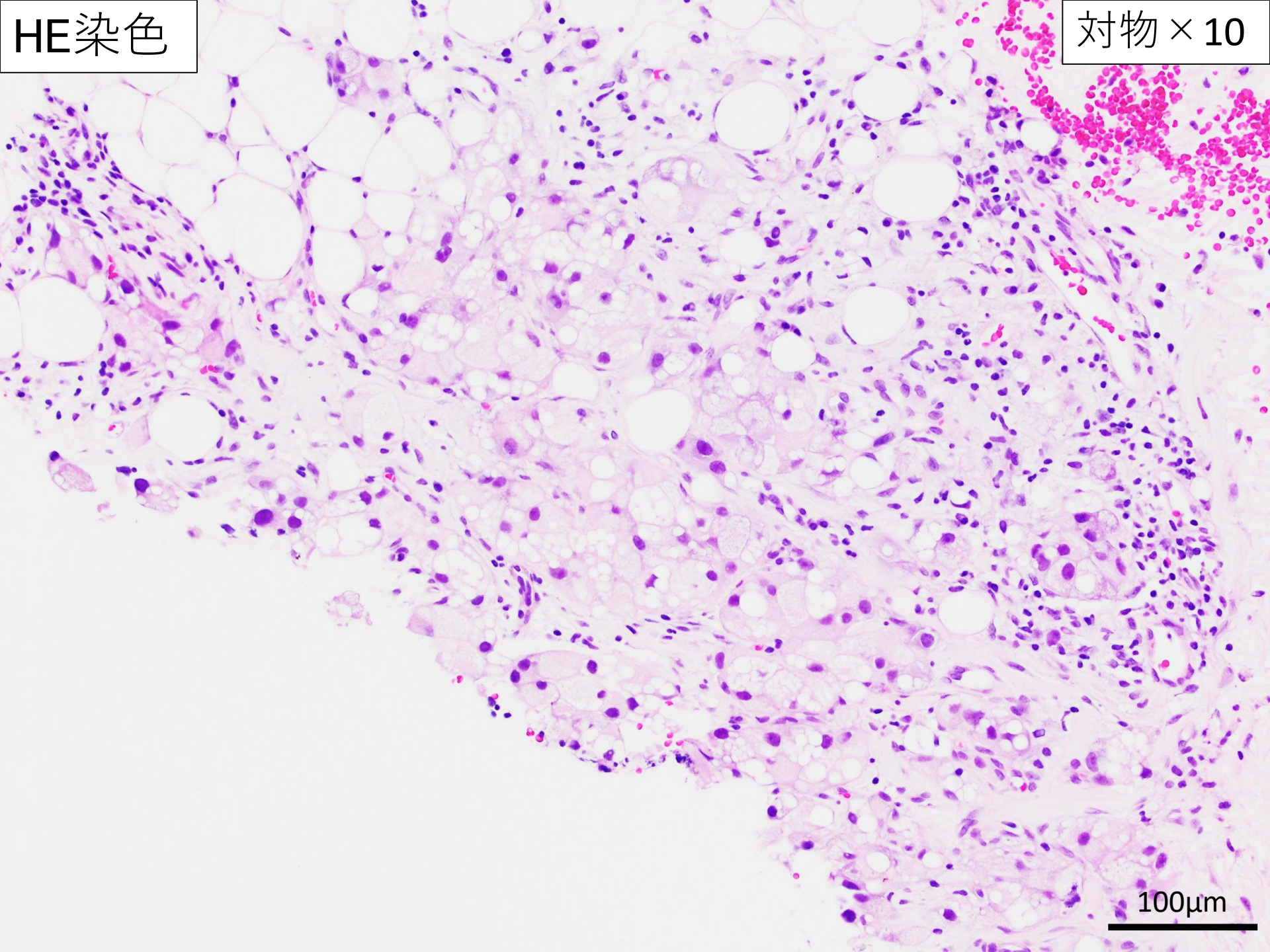
- 背景には少数のリンパ球，好中球を認めた．
- 核の重積を伴う異型乳管上皮細胞を大型集塊や孤立散在性に認めた．
- 筋上皮との二相性はみられなかった．
- 細胞質は好酸性を呈していた．
- 細胞質内に大小様々な空胞が散見された．
- 核は腫大し，核クロマチン増量，核形不整を伴い，明瞭な核小体を有していた．

【細胞診断】

ClassV Apocrine carcinoma

HE染色

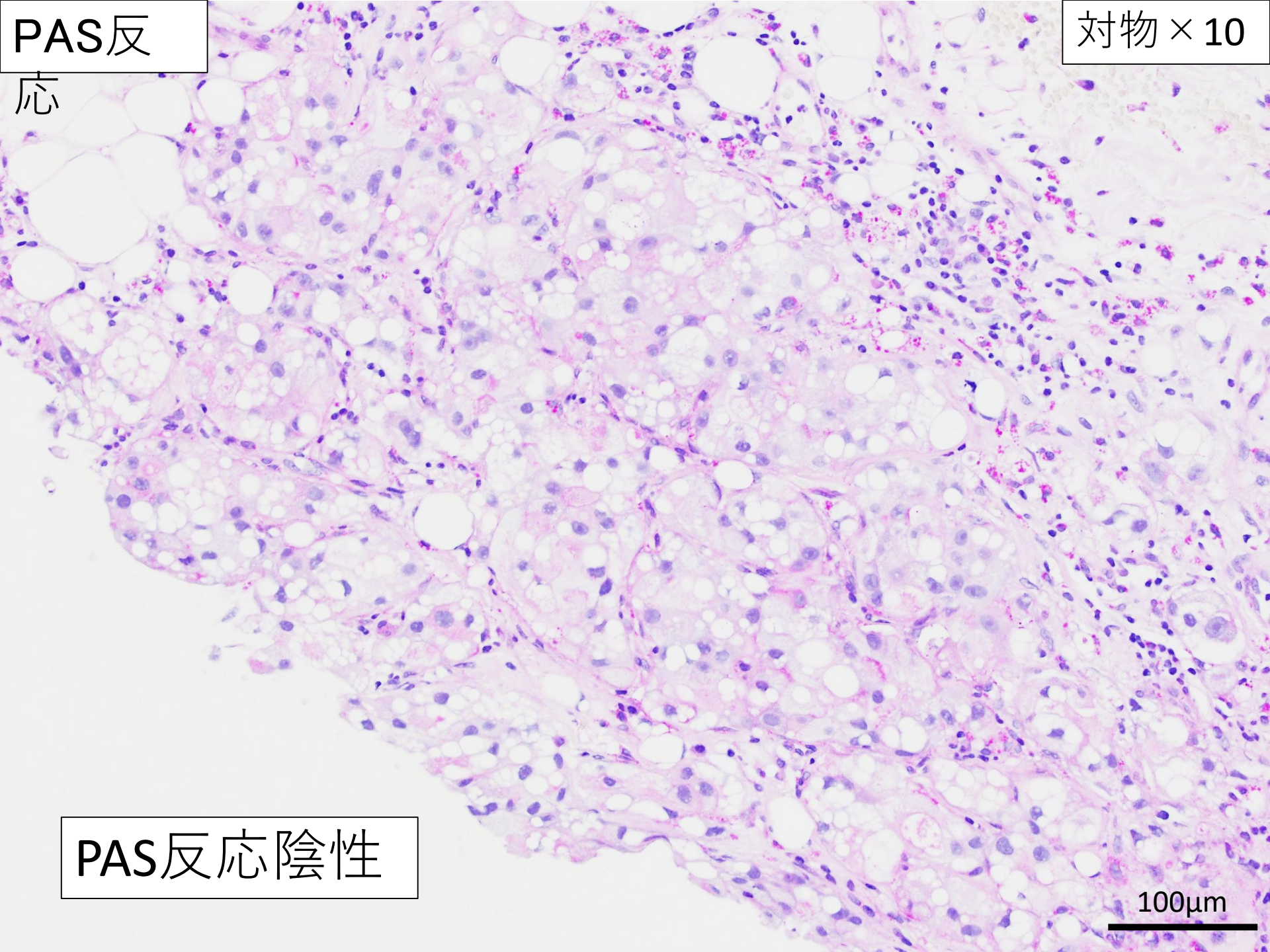
対物×10



100μm

PAS反
応

対物×10



PAS反応陰性

100μm

【針生検所見】

- 小胞巣を形成，線維性組織や脂肪組織内に浸潤性に増殖していた。
- 淡好酸性の豊かな細胞質を持つ。
- 異型細胞の一部には脂肪滴様の大小の空胞が認められた。
- 空胞はPAS反応陰性であった。

【針生検診断】

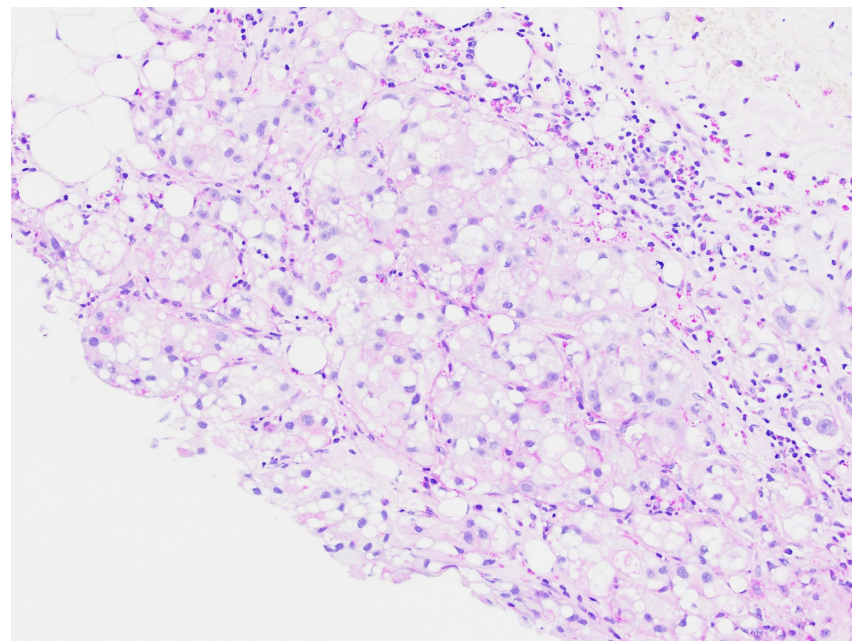
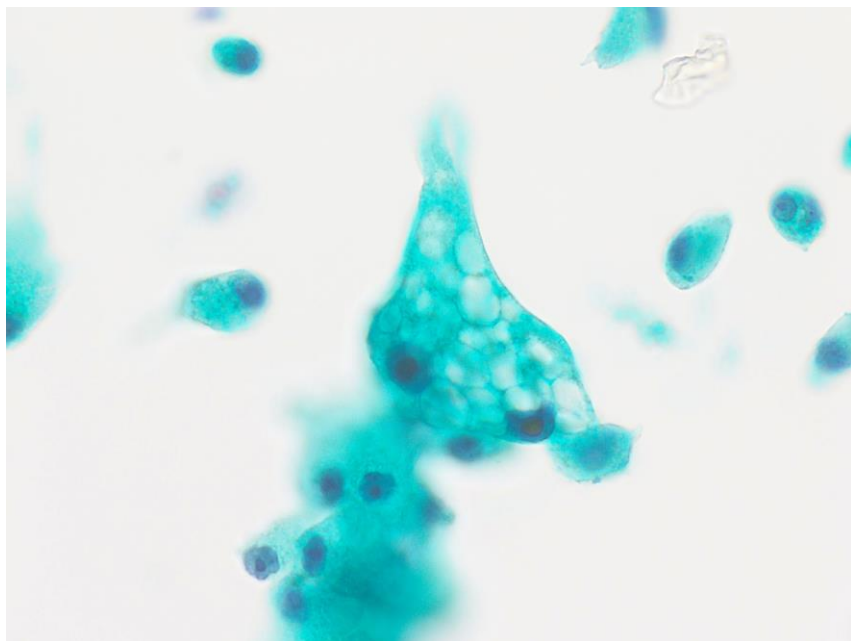
Invasive carcinoma

Special types

Apocrine carcinoma

浸潤癌のうち，特殊型のアポクリン癌や特殊型その他に含まれる脂質分泌癌，脂腺癌，などが鑑別に挙げられる．

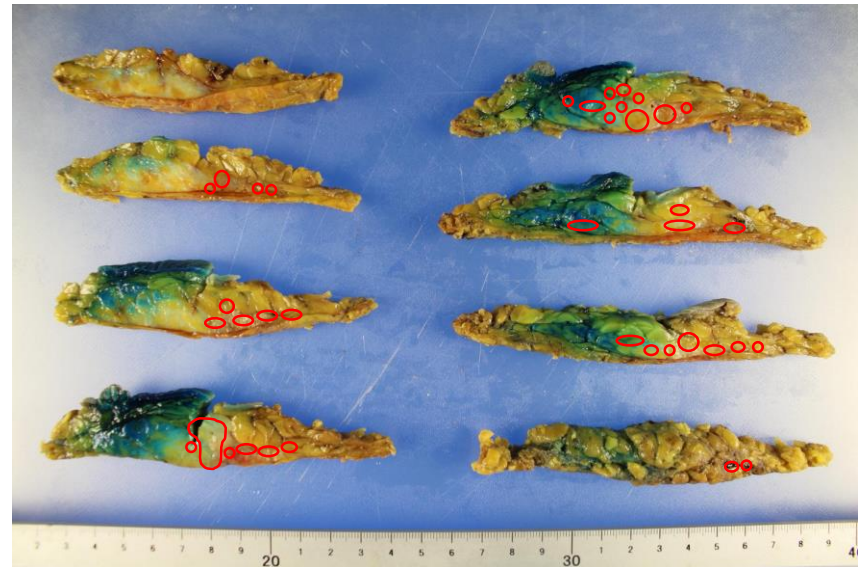
細胞診で細胞質に大小の空胞が目立ち，針生検で空胞が認められ，PAS反応陰性であることから，脂質分泌癌の可能性を考え，手術材料で脂肪染色することとした。



【手術材料肉眼所見】

左乳房全摘検体 14×11×2cm

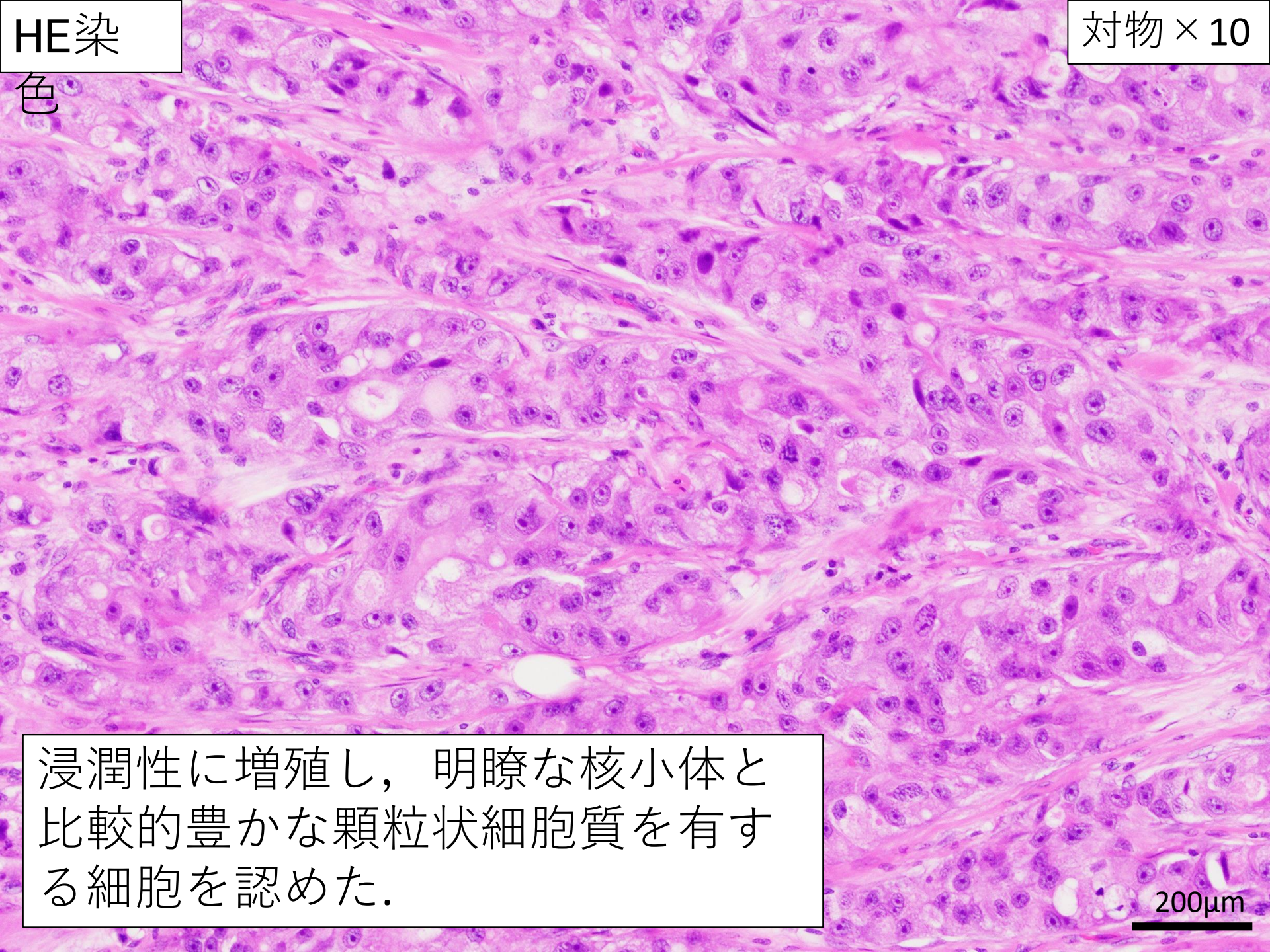
赤丸部分に腫瘍が認められた。



腫瘍部分をサンプリング。
捺印法と凍結切片で標本作製し、
脂肪染色（SudanⅢ染色）を行った。

HE染色

対物×10



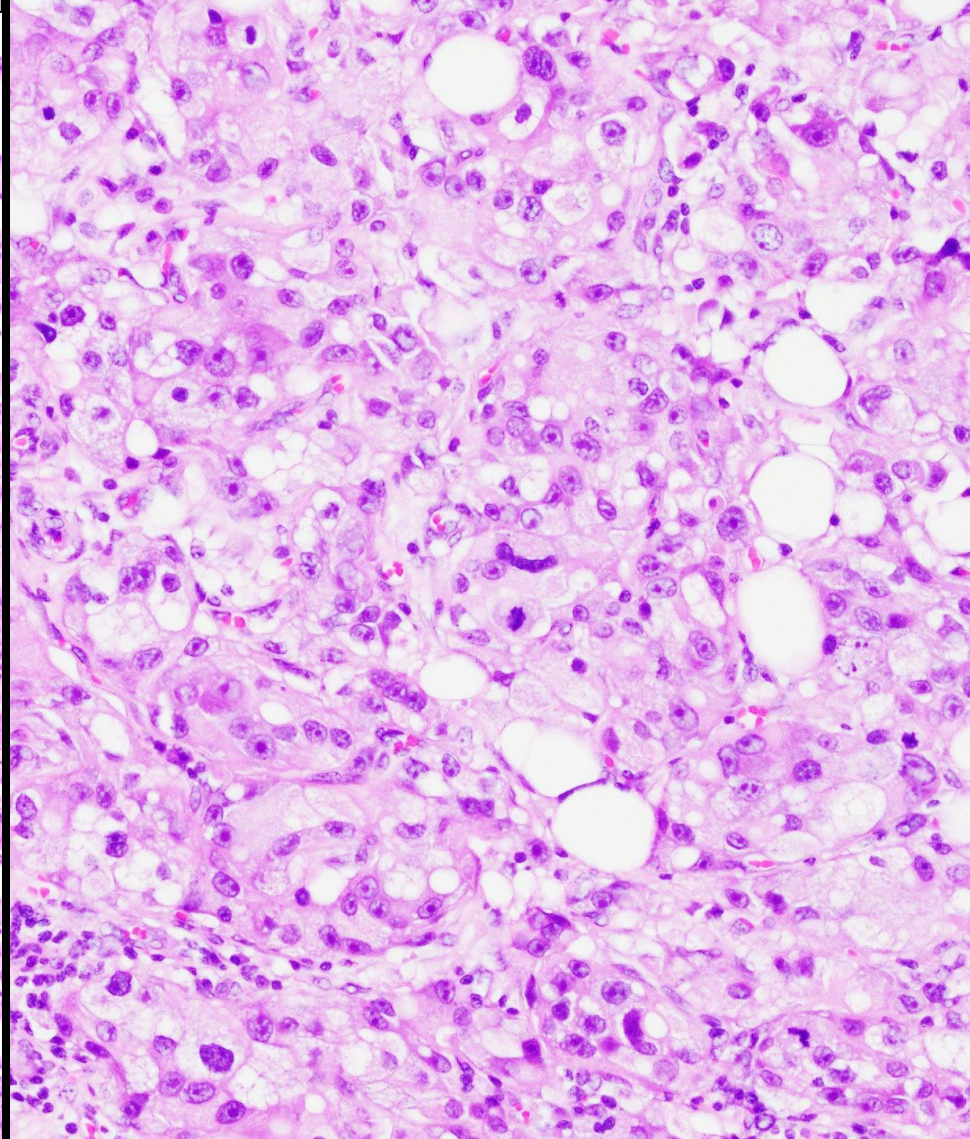
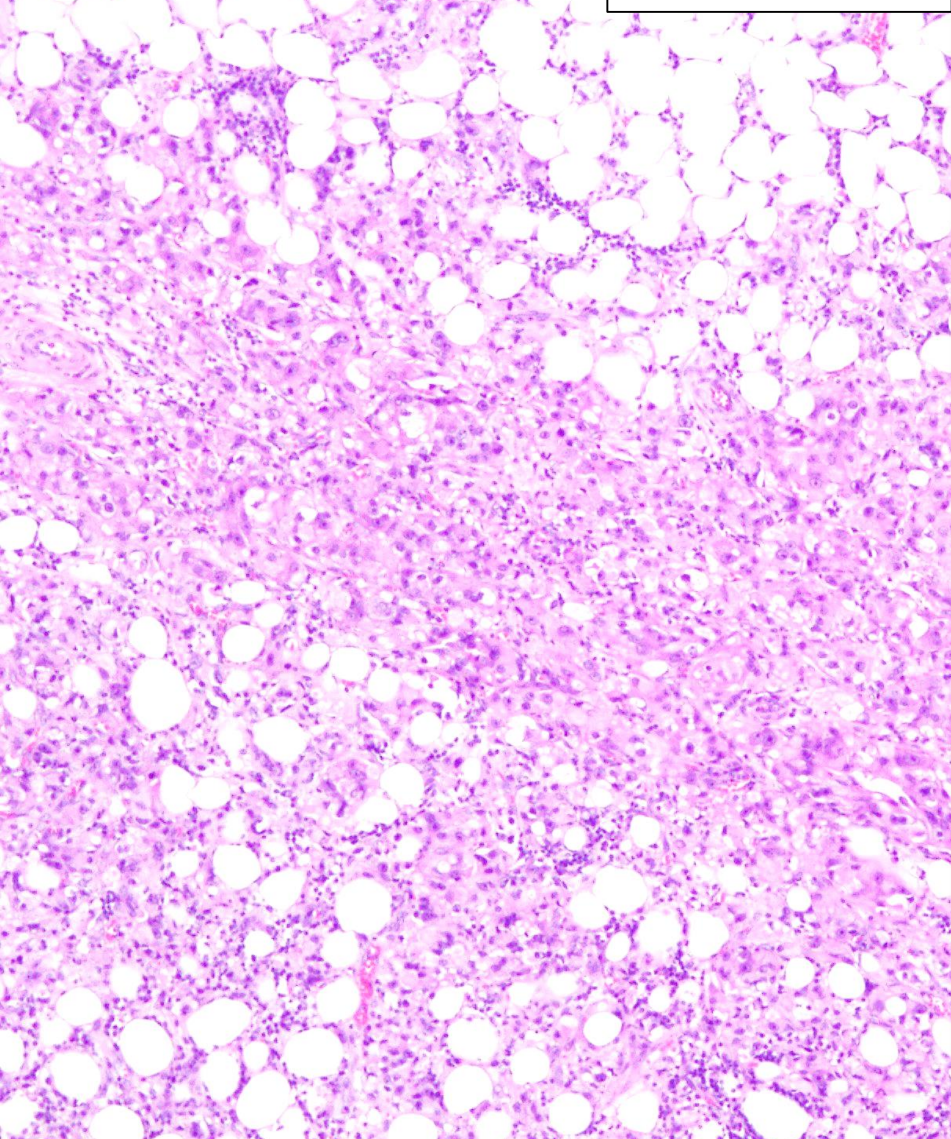
浸潤性に増殖し，明瞭な核小体と比較的豊かな顆粒状細胞質を有する細胞を認めた。

200μm

手術材料(HE)

対物 × 4

対物 × 10



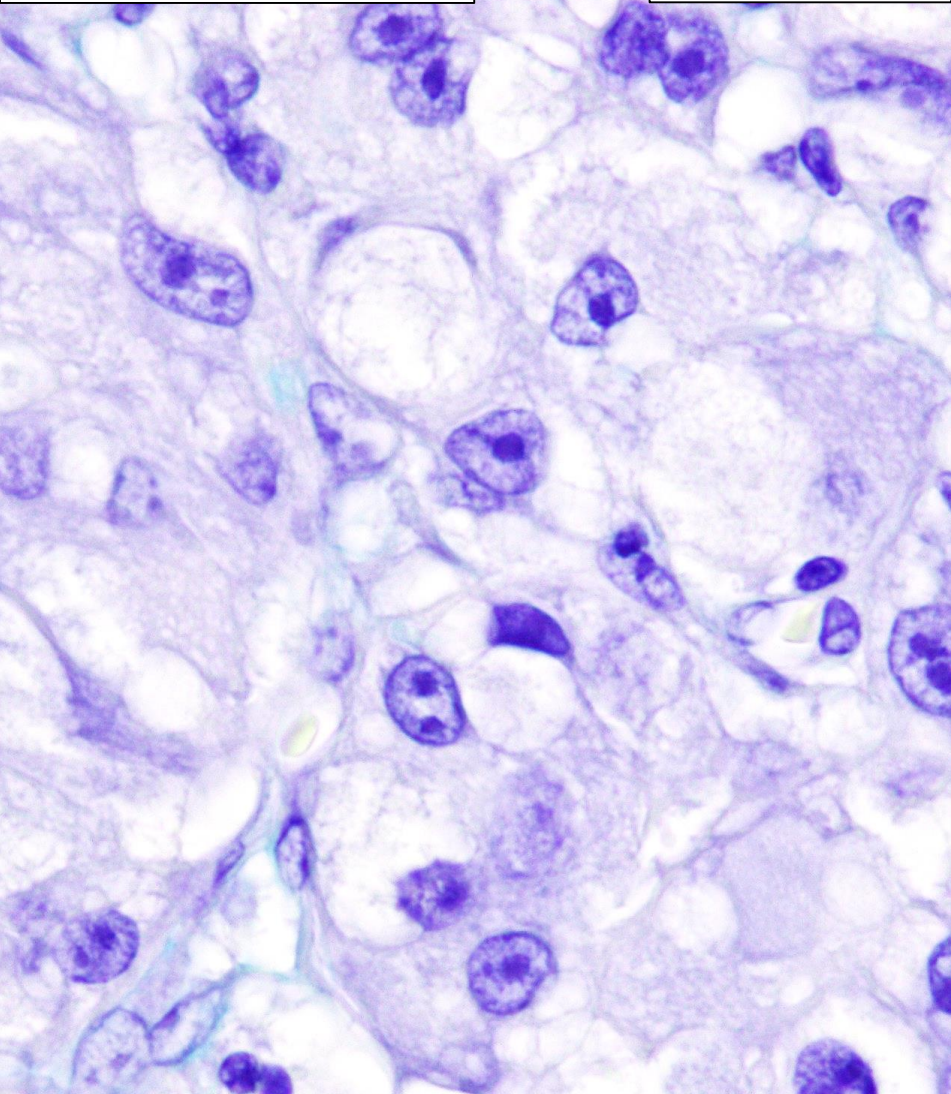
細胞質内の空胞が認められる

200μm

100μm

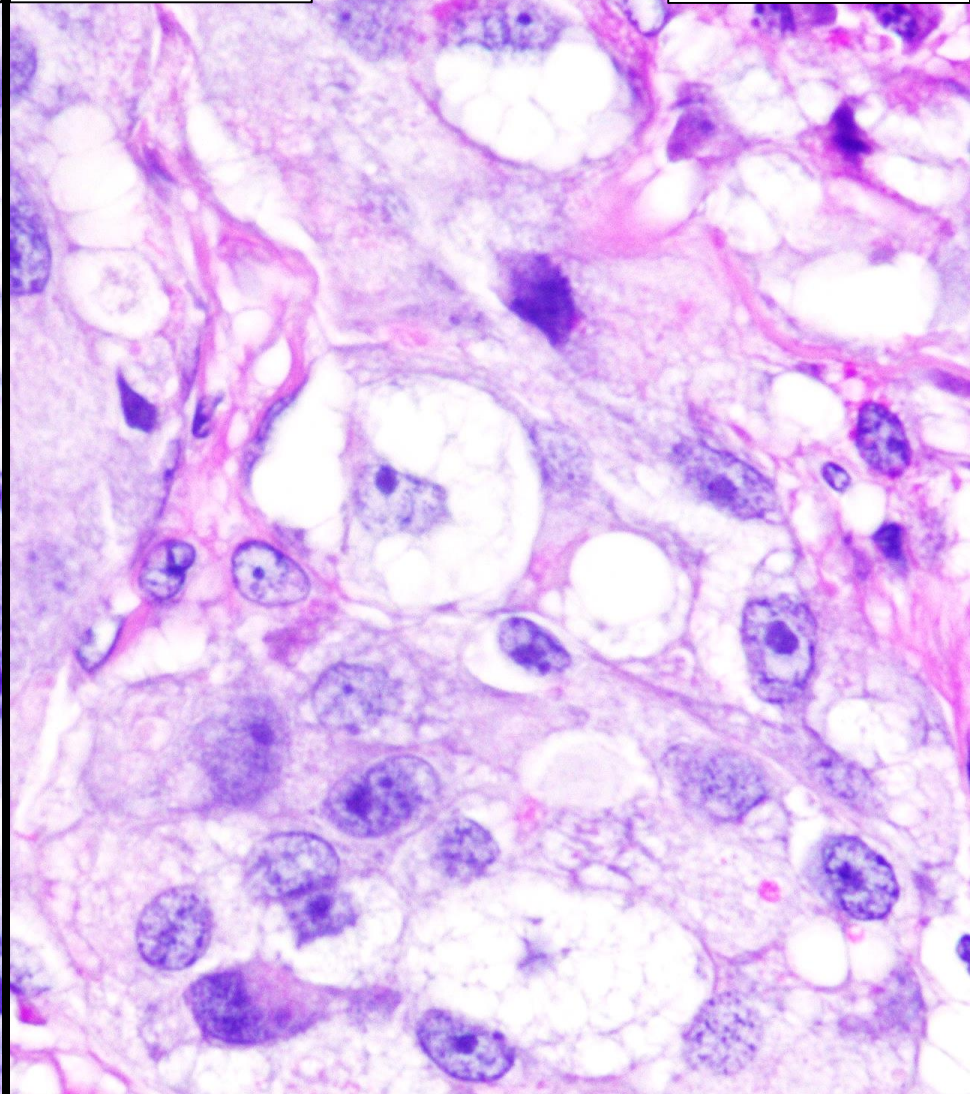
Alcian blue 染色

対物 × 40



PAS反応

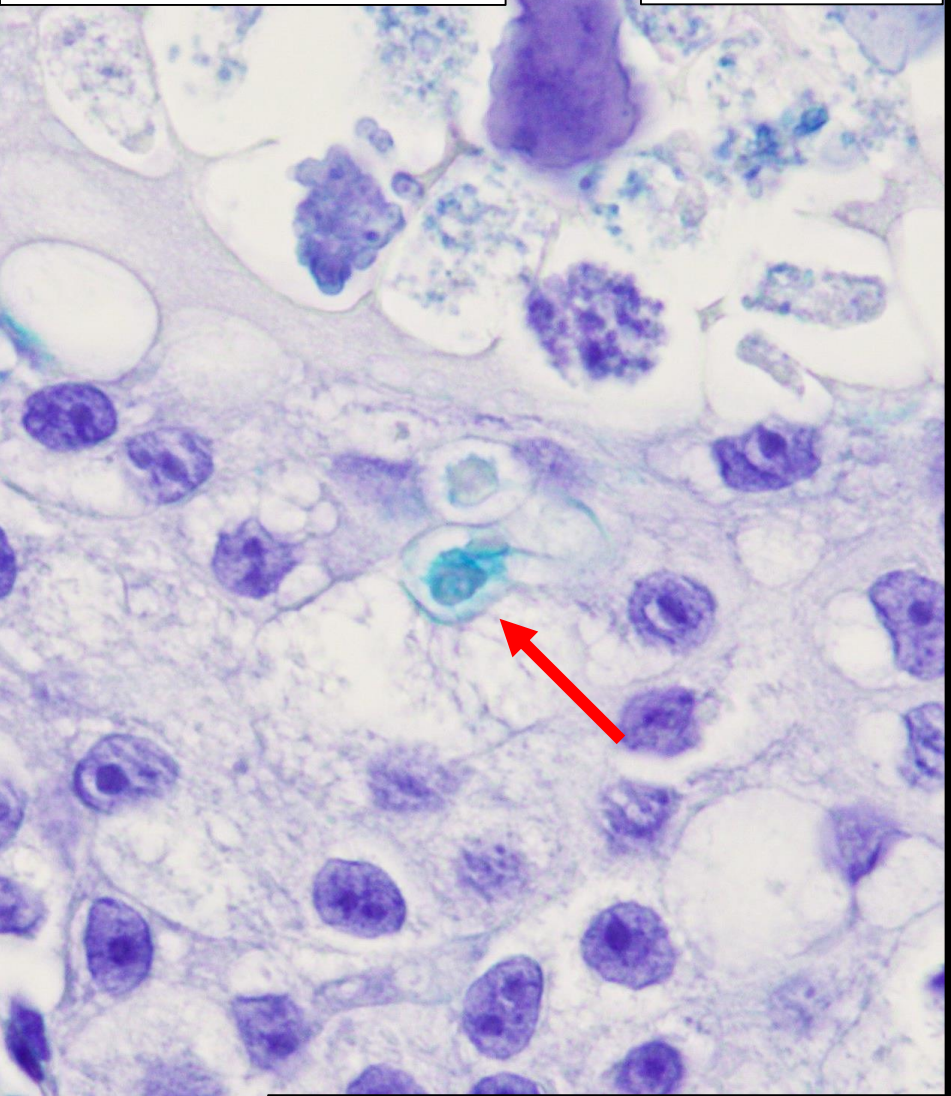
対物 × 40



大部分の空胞はAlcian blue染色，PAS反応共に陰性
粘液は認められなかった。

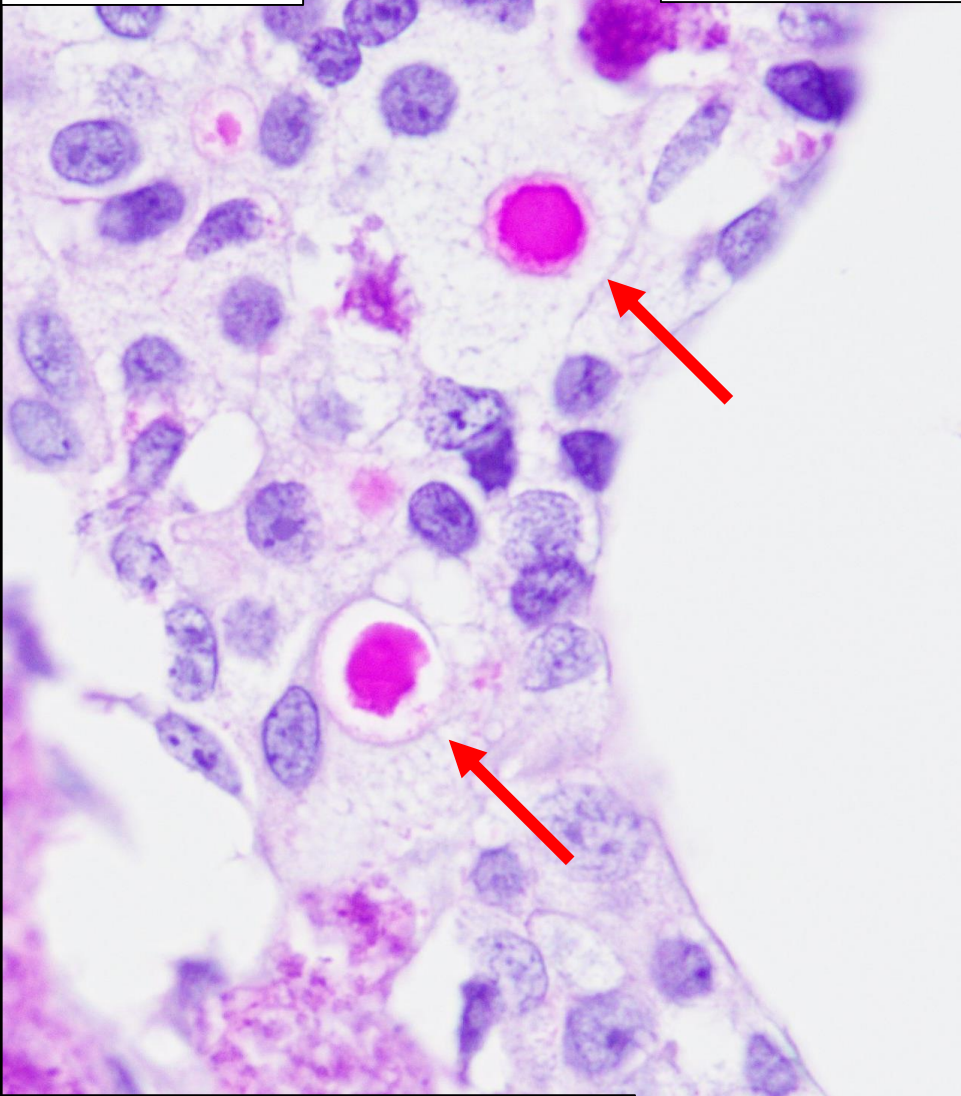
Alcian blue 染色

対物 × 40



PAS反応

対物 × 40

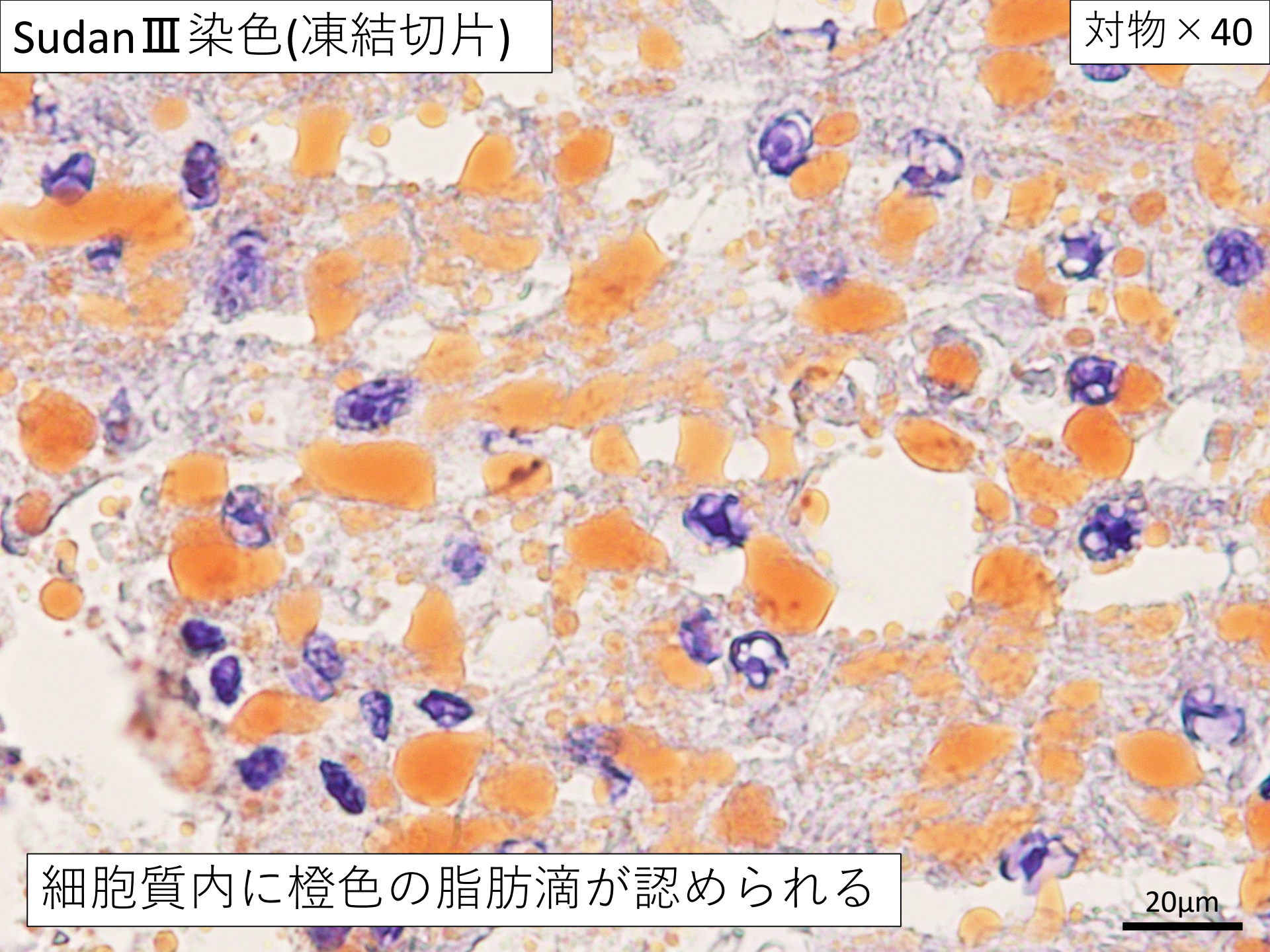


一部にAlcian blue染色とPAS反応で陽性



Sudan III 染色(凍結切片)

対物 × 40

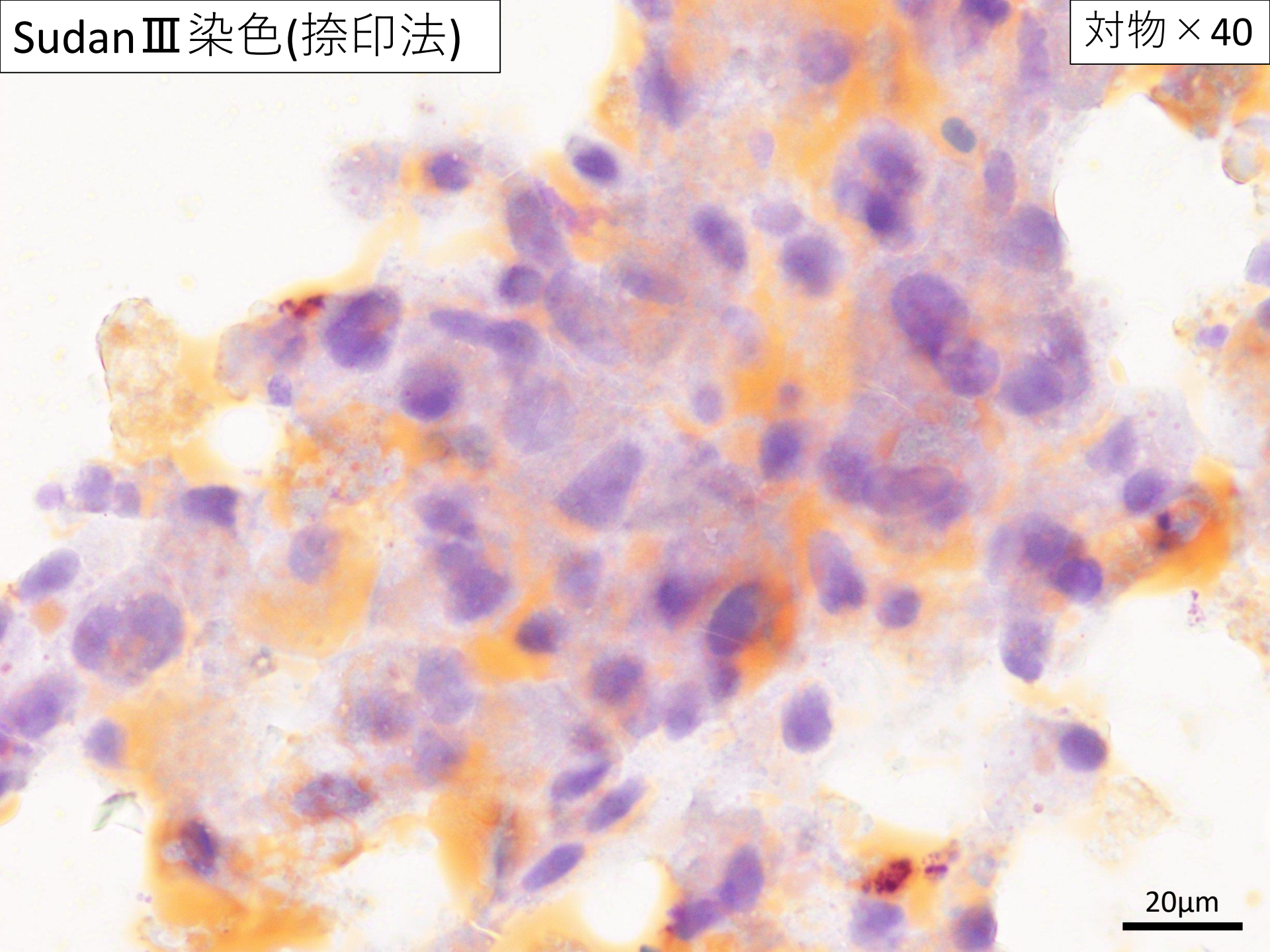


細胞質内に橙色の脂肪滴が認められる

20μm

Sudan III 染色(捺印法)

対物 × 40



20μm

【手術材料所見】

- 腫瘍の大部分は，明瞭な核小体と，比較的豊かな顆粒状細胞質を有する細胞であった．
- 一部に，細胞質に空胞を有する細胞が認められた．
- PAS反応， Alcian-blue染色は大部分の空胞は陰性で粘液は認められなかったが，一部には陽性であった．
- 脂肪染色を行ったところ，空胞に一致して脂肪滴が認められた．

【免疫組織化学結果】

陽性	陰性
AE1/AE3	CK5/6
GCDFP-15	SMA
GATA3 (一部に陽性)	CD10
CD68 (弱陽性)	p63
	S-100

ER	< 1%
PgR	< 1%
HER2	score3
Ki-67 labeling index	26%

【手術材料診断】

Apocrine carcinoma

(Lipid-rich carcinomaの成分を有する)

腫瘍の大部分はアポクリン癌。

一部に空胞化した細胞質を有する細胞を散見し、
脂肪染色で脂肪が証明された。

【脂質分泌癌：lipid-rich carcinomaとは】

- 乳癌取り扱い規約では，浸潤癌の特殊型のうち，その他に分類されている。
- WHO分類ではInvasive breast carcinoma of no special typeに含まれる。
- きわめて稀な腫瘍。
- 脂肪滴を含む泡沫状細胞質を有する。
- 脂肪染色陽性，PAS反応，Alcian blue染色で陰性。
- ER，PgRは陰性，HER2は陽性。

【鑑別】

- 分泌癌

背景や細胞質に分泌物がみられる。

細胞質に分泌顆粒や空胞状の小胞を有する。

PAS反応, Alcian blue染色, Mucicarmine染色が陽性。

- 脂腺癌

細胞質に脂肪滴を含む。

小型の空胞が多数みられる。

【まとめ】

- 今回，細胞質に脂肪滴を伴う診断困難な 1 例を経験した。
- 多数の空胞を細胞質に伴う場合は，脂質分泌癌の可能性を念頭に置き，診断する必要がある。脂質分泌癌の確認には脂肪滴の確認が必要であり，脂肪染色が必須である。脂肪染色を行う際は，検体提出法を考慮する必要がある。

【参考文献】

- 乳癌取り扱い規約 第18版
金原出版株式会社
- 細胞診ガイドライン2 乳腺・皮膚・軟骨部
金原出版株式会社
- WHO Classification of Tumours 5th Edition
Breast Tumours
- 関戸恭子,梅村しのぶ,望月裕夫,渋谷誠,徳山丞
小坂昭夫,安田政美,長村義之
乳腺lipid rich carcinomaの1例
J.Jap.Soc.Clin Cytol.1999;38(1):84～88.